

下北山村  
トンネル個別施設計画

令和7年11月  
下北山村 農林建設課



#### (7) 新技術の活用方針

定期点検の効率化や高度化、修繕等の措置の省力化や費用縮減などを図るために新技術情報提供システム(NE T I S)や点検支援技術性能カタログなどを参考に活用を検討。

・令和5年度～15年度において、施設の点検・修繕等に対し、2割の施設で新技術を活用することを目標とする。

#### (8) 費用縮減方針

定期点検結果から得られた損傷状況をふまえて、予防保全段階(Ⅱ)判定箇所についても修繕等を検討することで、高コスト化を回避し、ライフサイクルコスト(L C C)の縮減を図り、将来の維持管理と修繕にかかる費用の削減を目指します。

交通状況や地域の意向、利用者の状況を鑑みて、集約化が可能な場合、将来の維持管理と修繕にかかる費用の削減を目指します。上記を踏まえ、2032年までの10年間に50万円のコスト縮減を目指します。

個別施設計画では定期点検の効率化や高度化、修繕等の措置の省力化や費用縮減などを図るために新技術情報提供システム(NE T I S)や点検支援技術性能カタログなどを参考に施設の点検・修繕等に対し、新技術を活用することを目標とします。上記を踏まえ、2032年までの10年間に50万円のコスト縮減を目指します。